

# 資料5

## 総合計画審議会意見対応一覧

通番	該当箇所	意見等	対応	担当課
1	計画全体	目次のページには、重点戦略1と2が「こども」で始まっていますが、1-4ページでは「子ども」と漢字が使われています。3文字ともひらがなの方が、「社会全体で子どもを育てる。」という感じがしていいと思います。ひらがなでの表現も議論して頂きたいと思います。	令和4年度に、当時のこども家庭庁設立準備室から各府省庁あてに「こども」表記の推奨について依頼がございましたが、市町村に対しては現時点において同様の依頼等はないため、紙面上の読みやすさを考慮し、「こども家庭センター」や「こども基本法」のような固有の表現を除いて、本計画では「子ども」表記に統一いたします。	健幸=SDGs課
2		今回の総合計画では、子どもを育むことを通じてまちを活性化させていくという意図は伝わる一方で、子どもが主語、中心となる施策が見当たらないので、子どもを中心にした何かがあるとよい。 また、子どもの意見を聞く機会、子どもが意見を表明する機会があるとよい。	ご意見については、今後策定を予定している「(仮称)こども計画」において対応してまいります。	子育て支援課
3		総合計画には、計画期間においてどのような施策を実施するのかを記載すべきなので、施策の取組における「検討します」という表現は全て見直すべきではないか。	ご意見を踏まえ、「検討します」という表現について見直しをいたします。 一方で、都市基盤の再整備など、計画期間のさらに先の未来に向けた施策の取組については、「検討します。」の記載のままいたします。	健幸=SDGs課
4	P15 目指す都市像	多くの市民が目にするのは、市役所前の看板や広報などに記載する「目指す都市像」だと思います。市長の公約でも、子育てを強く主張されていたので、目指す都市像に、「子育て」または「子ども」ほかにも子育てを連想するようなワードを入れた方がよいと思います。	目指す都市像の中の「育み」という言葉には、子どもだけでなく、市の活力やまちを育てていくという意味も込められております。 直接的な子ども施策以外の福祉や産業振興、都市整備などの施策についても「子どもを育む」という視点で捉え、すべての施策が市民全員の将来にわたる幸せにつながることを表現する都市像として、「ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 安城」といたします。	健幸=SDGs課
5		都市計画マスタープランでも「協創」を掲げているため、同じ読みである「共創」という言葉では市民から見ると新しいことを始めるイメージが湧かないのではないか。	第9次総合計画では、社会全体で子どもを育むということを第一に考え、目指す都市像において、「ともに新たな未来を創っていく」という想いを込めて「共創」という言葉を用いております。「しあわせ共創都市 安城」に込めた想いを広く市民の皆様と共有できるように周知を図ってまいります。	健幸=SDGs課
6	P21~28 重点戦略	「しくみ」「ちから」「ばしょ」という重点戦略のイメージについて、三位一体の改革のように相互につながりを持たせた方が分かりやすいのではないか。また、それぞれの取組に担当課の記載があった方が、市の中の役割分担が市民にとって分かりやすくなるのではないか。	ご指摘を踏まえて、総合計画の市民への周知を図ってまいります。また、担当課の記載については、一つの取組に複数の担当課が関連する場合もあるため、担当課を羅列することによって分かりにくくなってしまふ恐れがございますので、記載いたしません。	健幸=SDGs課
7	P25~26 重点戦略 「ちから」	重点戦略2のプロジェクト1とプロジェクト2のKPIが「市内総生産額」でまとめられているが、プロジェクト1にある農業の取組に対してKPIを別途設定した方がよいのではないか。	農業・工業・商業を分けるのではなく、市内全体の産業を表すKPIが必要と考え「市内総生産額」を設定しておりますので、プロジェクト1についてのKPIは別途設定いたしません。	健幸=SDGs課

通番	該当箇所	意見等	対応	担当課
8	P27～28 重点戦略 「ばしょ」	重点戦略3は「子どもを育む安らぎの『ばしょ』を築く」との記載があるので、景観に関する取組が最初に記載されるのかと思ったが、記載順が一番最後となっている。景観に関する取組の順番を変えた方がよいのではないか。	重点戦略は、市が取り組む施策の中でも目指す都市像の実現に向けて特に重要なものを記載しておりますので、記載した取組に優先順位はございません。取組の記載順は分野別計画の記載順となっており、優先順位を示す意図はございませんので、現在の記載のとおりといたします。	健幸=SDGs課
9		重点戦略3のKPIにある「居住誘導区域の人口」は、市民の方に上手に伝わるかなと感じるので注釈を入れてはどうか。	ご意見を踏まえ、「市街化区域のうち、住居を建てることのできない工業専用区域等を除いた区域」という注釈を記載いたします。	健幸=SDGs課
10	P31～32 分野別計画 「1子育て」	施策の取組(4)②の「多様な居場所づくり」では、(4)①に記載された子ども食堂や児童センター、放課後児童クラブ以外の居場所を検討することだが、どういった場所を検討しているか記載があるとよいのではないか。	既に子どもの居場所として認識されている子ども食堂や児童センター、放課後児童クラブ以外の新たな居場所づくりを子どもの置かれた状況等に応じて推進したいと考え、このように記載しております。今後の状況によって変化していく内容となりますので、現時点で特定の場所を記載することはいたしません。	子育て支援課
11	P33～34 分野別計画 「2学校教育」	学校教育は先生がいるからこそだと思うので、先生に関する成果指標を追加できるとよいのではないか。	基本計画素案でお示ししている「みんなと学ぶことは楽しいと答える児童生徒の割合」、「タブレット端末などICT機器の学び合いでの活用状況」といった成果指標は一律に数値を測ることができますが、先生に関しては担当する教科の違い、大規模校と小規模校の事務の違いがあり、一律に数値を測ることが困難なため、成果指標を設定いたしません。	学校教育課
12		施策の取組(2)①「いのちの教育」について、どのようにしなやかで折れない心を育てるのかについて加筆すべきではないか。	「『いのちの教育』を推進し、しなやかで折れない心を育てます。」という文章は、これまで大切に用いてきた表現であることに加え、安城市学校教育プランをはじめとした個別計画などとも統一した表現ですので、現在の記載のとおりといたします。なお、「いのちの教育」とは自他の命の大切さを実感する教育のことで、教育活動全体を通して行われる教育活動です。具体的な取組については、安城市学校教育プランなどに記載しております。	学校教育課
13		施策の取組(3)③で「不登校などの様々な背景や特性をもつ子どもへの支援の充実を図ります」との記載がありますが、外国人の方について、学校だけではなく地域も支援をしていますので、地域を含めて何かやれることがないかなと思います。	施策の取組(1)⑧に記載しているコミュニティ・スクールについては、学校現場だけではなく、地域で子どもを育てていくという施策となっております。モデル校から順次取り組み、全中学校区で進める予定ですので、成果指標に「コミュニティ・スクール設置率」を新たに追加し、教育や子育てを学校だけではなく地域でも推進していきたいと考えております。	学校教育課

通番	該当箇所	意見等	対応	担当課
14	P35～36 分野別計画 「3 福祉」	<p>施策の取組（１）①について、重層的支援体制という言葉が聞きなれないため、この取組内容がおおまかすぎると感じました。もう少し詳細が分かるとイメージがしやすいと思います。福祉に携わったことのない市民には何がしたいのか分かりづらいと思います。福祉に携わっている者としても具体的な内容が分かるように明記していただきたい。</p>	<p>「重層的支援体制整備事業」は、市内の様々な支援機関が連携して支援に当たる、包括的な支援体制を構築して、８０５０問題やヤングケアラーなど、複雑化・複合化した課題を抱える人を支援する事業です。既存の介護、障害、子ども、生活困窮などの相談支援等の取組みを生かしつつ、それをうまく連携させる仕組みを整えながら、新たな事業を実施してまいります。</p> <p>具体的には、① 包括的相談支援事業② 多機関協働事業③ アウトリーチ等を通じた継続的支援事業④ 参加支援事業⑤ 地域づくり事業という５つの事業を一体的に実施してまいります。</p> <p>各事業の内容等を市民の皆様に分かりやすくお伝えできるよう、イラストなどの活用を含めて検討をいたします。</p>	社会福祉課
15		<p>安城市版包括ケアシステムが地域住民同士の助け合いという強みがあるのであれば、障害を持つ人、高齢者、生活困窮者に対する理解の促進ということの記載があるとよいのではないかと。</p>	<p>障害者、高齢者、生活困窮者といったそれぞれの方に対応した理解促進について、地域福祉計画、あんジョイプランなどの計画に記載してまいります。</p>	福祉部
16		<p>施策の取組（２）②、③について、「地域で行う」ということは、町内会や福祉委員会も担っているということになるので、「町内会や各福祉委員会の協力を得て」という記載を追加すべきでないかと。</p>	<p>ここで記載した「地域」とは、町内会や福祉委員会はもちろん、それ以外の関係者、関係団体の方も包含した表現として用いておりますので、具体的な記載については地域福祉計画、あんジョイプランなどの計画に記載してまいります。</p>	社会福祉課 高齢福祉課
17	P37～38 分野別計画 「4 市民参加と協働」	<p>施策の取組（１）②「市民交流センターを拠点とした話し合いや交流の場を提供します」という記載は、第8次総合計画と全く同じです。第9次総合計画では、ただ提供するというだけでなく、提供した後にどうしていくのだ、何を目指していくのだということを書いていかないといけないと思います。</p>	<p>今までの市民交流センターにおける場の提供は、限られた市民や団体の活動に対するものとなっておりますが、今後は限られた市民や団体だけでなく、様々な団体が同時に同じ場所で活動することを目指していきたいと考えております。また、市民交流センターとしては活動の拠点となる場を貸すだけでなく、スタッフ等も活動の一員として参加する取組も進める予定をしております。このような取組を通じて、拠点の充実を図っていくという意図での記載となりますので、現在の記載のとおりといたします。</p>	市民協働課
18		<p>「性別にとらわれず、子どもの個性を尊重するように育てた方がよいと考える市民の割合」という成果指標は、施策の取組の中にあるLGBTに対する市民の意識に関する指標だと思いますが、ピンポイントになりすぎて子育てに関する指標のように感じられます。</p>	<p>LGBTのみでなく、広く多様な生き方に関する指標として考えております。</p>	市民協働課
19		<p>課題として、ボランティア・市民活動・町内会役員の高齢化を挙げていますが、施策として具体的にどうするかが分かりにくい文面になっていると思います。</p> <p>若い世代を取り込んでいくにはどうしていけばよいかが一番の課題だと思いますので、「支援します」だけではなく、具体的に若い世代に参加してほしいという言葉を出してもよいのではないかと。</p>	<p>ボランティア・市民活動・町内会役員の担い手の高齢化が進むなか、若い世代の参加を促進することは重要であるとともに、元気な高齢者の参加を促進することも必要であると考えます。</p> <p>そのため、対象を限定するような「若い世代に参加してほしい」という表現はいたしません。17ページ（１）④の「市民が活動に参加できるきっかけづくり」や、（１）⑤の「積極的な情報発信」を実施する際には、若い世代の参加を促す取組を実施してまいります。</p>	市民協働課
20	<p>施策の取組（２）①について、女性の活躍促進とあわせて男性の家庭参画を進めるという表現は少し違うのではないかと。女性が活躍するから男性も家庭のことをして下さいととらえることも出来るため、別々の文面にした方がよいのではないかと。</p>	<p>ご意見を踏まえて、「職場等における女性活躍を進めるとともに、家庭・地域における男女共同参画を推進します。」に文章を修正いたします。</p>	市民協働課	

通番	該当箇所	意見等	対応	担当課
21	P41～42 分野別計画 「6 商工業」	新しいものづくりにトライしているところに対し、市としてどんな支援ができるのかというところをご検討いただき、できる範囲で計画に盛り込んでいただければと思います。	施策の取組（2）①、②に新製品や新技術の開発の意欲向上につながる支援や情報発信、啓発などを記載しております。	商工課
22	P45～46 分野別計画 「8 文化芸術」	施策の取組（1）⑤の子どもたちの部活動について、「子どもたちの文化活動を充実させるため、休日の部活動の段階的地域移行について検討していきます」とありますが、部活動の地域移行は、教職員の負担を軽減するために実施されることなので、文章の順番として、まず部活動の地域移行について書いてから子どもたちの文化活動を充実させる、というように記載した方がよいのではないかと。	「子どもたちの文化活動の充実」を目的として、休日の中学校部活動地域移行を進めていきたいという意図の記載になりますので、文章の順番は現在の記載のとおりといたしますが、中学校部活動の地域移行についてはすでに決定し、10月から取り組む内容となりますので、「子どもたちの文化活動を充実させるため、休日の中学校部活動の段階的地域移行について、関係団体と連携しながら進めます。」に文章を修正いたします。	文化振興課
23	P47～48 分野別計画 「9 健康・医療」	施策の取組（4）②については、市の保健センターや社会福祉協議会など公的な機関をイメージしてしまう。民間の医療機関を示している、含んでいるというように読みとれるような良い言い回しはないでしょうか。	民間、公共を含めた連携強化を想定しており、これ以外の表現は難しいと考えておりますので、現在の記載のとおりといたします。	健康推進課
24		施策の取組（5）①の心の健康づくりという中に関連部署、関連団体といった漠然としたものだけでなく、教育現場などの提示があるとよいと思います。	「健康」の分野では、市民全体に対するこころの健康という位置づけで記載しておりますので、現在の記載のとおりといたします。	健康推進課
25		施策の取組（5）①こころの医療に関して、40代男性の自殺率が高く、自殺対策はその世代の方たちのケアをしていますが、一方で減っていないのが子どもの自殺です。 「子育て」の分野では、子育て環境の充実等についてはありますが、啓発の取組があまり明確に出ていないと感じるので、体罰に寄らない子育て、虐待防止の啓発といったことの記載も検討してはどうか。	ご意見については、今後策定を予定している「（仮称）こども計画」において検討してまいります。	子育て支援課 健康推進課
26		施策の取組（5）こころの健康づくりは、今特に大切な課題だと思われれます。体の健康も大切ですが、こころが壊れてしまったら回復が大変だと思うため、取組内容に子どもの頃からの教育や働きかけの事項が入っているとよいと思いました。	「健康・医療」の分野では、年齢や性別等を限定せず、全般的な自殺対策について記載をしています。ご指摘の内容につきましては、今年度策定を予定しています「第2次いのち支える安城計画（安城市自殺対策計画）」における取組の中で対応してまいります。	健康推進課
27	P49～50 分野別計画 「10スポーツ」	現状と課題の中で、「スポーツを楽しむ」という単語を使っている理由を教えてください。中学生などは特にスポーツを楽しむだけでなく競う、鍛錬といった要素もあるかと思しますので、「スポーツをする」や「スポーツができる」でもいいのかと思います。	最終的にはスポーツは競技なので競うということが必要になりますが、その前段として、「楽しむ」という段階があると考えています。 現状と課題の3つ目にある「子どもたちがスポーツを楽しむための」という箇所については、休日の中学校部活動の段階的地域移行によって、これまで楽しんでいた部活動ができなくなった時に、ローラースケートなど新しいスポーツを行う機会を生むものにしたい、といった意味合いも込めてこの表現としておりますので、現在の記載のとおりといたします。	スポーツ課
28	P51～52 分野別計画 「11生涯学習」	施策の取組（2）③地域学校協働活動、指標の地域学校協働本部という聞きなれない言葉がでてきていますが、具体的にどういうことなのでしょう？地域というのは町内会等のことを指すのでしょうか？	地域学校協働活動は、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える狙いのもとに行われる活動です。その活動は、町内会などの従来の地縁団体だけではなく、新しいつながりによる地域の教育力向上や充実により、地域課題解決に向けた連携・協働につながるもので、活動を実施する体制が「地域学校協働本部」となります。 また、ここで言う地域とは、町内会を始め、地域で活動する市民団体や企業なども含めた大きなくりを指しています。 ご指摘いただきました聞きなれない文言につきましては、計画書上では注釈を記載いたします。	生涯学習課

通番	該当箇所	意見等	対応	担当課
29		<p>現状と課題の箇所に「大気・水などが良好で」との記載がありますが、安城市で水に関して不安に思うことはあるのでしょうか。</p>	<p>現状、水の安全は確保されていますが、最上位計画である総合計画には大気と水についても記載すべきと考え、記載しております。</p>	環境都市推進課
30	<p><b>P61～62 分野別計画 「16環境」</b></p>	<p>課題のところの上っている46%削減というのと、指標のところの上っている「市が実施している事務及び事業に関する温室効果ガス排出量の削減率（2013年度比）数値の整合」が難しいのではないかと思います。</p> <p>また、施策のところロードマップのことが出てきていませんので、作成するならば書かれた方がいいかと思います。</p>	<p>市全体の温室効果ガス排出量削減率の数値は、国全体の排出量から按分して求めた数値が安城市の数値になっており、国から2年遅れで算出されるものとなっております。成果指標として数値を評価していく中で、国から出された数値よりも、市が実施している事業から出すことができる数値を使った方が数値の速報性があることから、現在のとおりといたします。</p> <p>また、施策の取組（3）①の文章については、ご意見を踏まえて「ロードマップに基づき、省エネルギーの推進及び再生可能エネルギーを活用したエネルギーの地産地消を進めることにより、地域におけるエネルギーの効率的な利用を促進し、温室効果ガスの削減を図ります。」に修正いたします。</p>	環境都市推進課